

(仮称)盛岡市産学官連携研究センター整備事業について

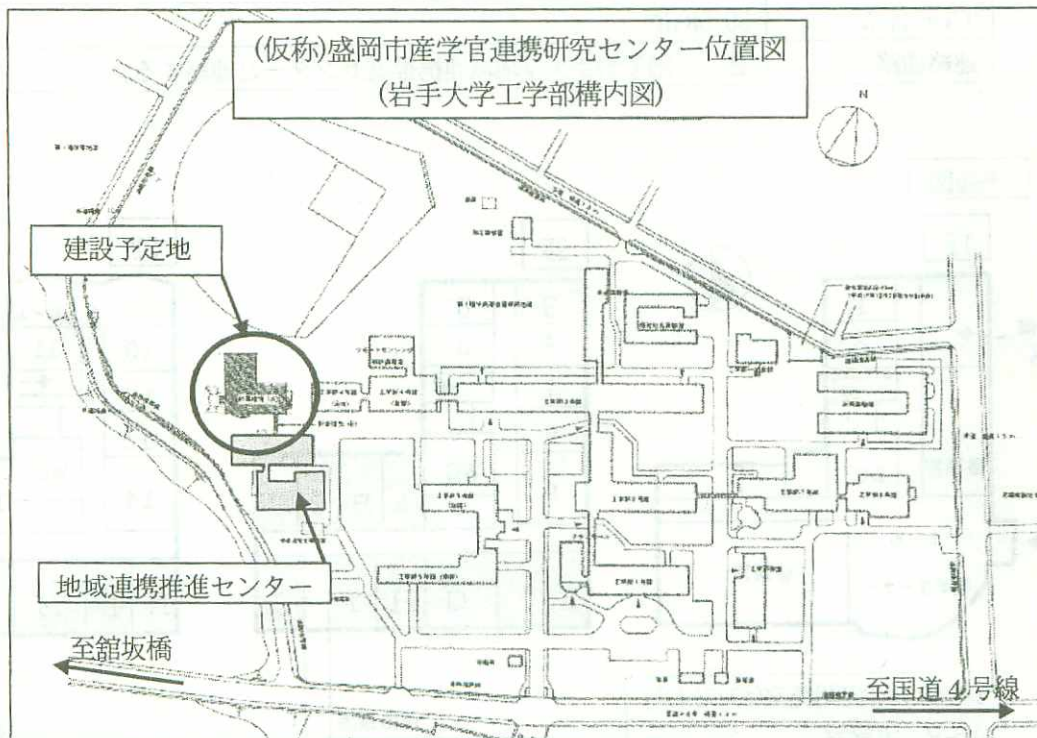
平成18年8月8日
商工観光部

1 事業の趣旨

本市には、大学や公的試験研究機関等が集積しており、企業との共同研究や研究成果の地域還元の高い評価と実績を得ている岩手大学との連携を推進し、市内の企業が抱える技術的課題の解決、新技術の研究開発や新規創業を支援するとともに、新たに研究開発型企業の立地を促進するため、岩手大学構内に「(仮称)盛岡市産学官連携研究センター」を建設するものである。

2 施設概要

- (1)名称 (仮称)盛岡市産学官連携研究センター
- (2)事業主体 盛岡市 (平成17~18年度事業)
- (3)補助事業名 電源地域新事業支援施設等整備費補助金(経済産業省)
(補助率:補助対象経費の1/2)
- (4)建設場所 盛岡市上田四丁目3-5 (岩手大学構内)



- (5)構造等 鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 2,114.68 m²
(うち、市が賃貸する研究開発用室 1,009.94 m²)

(6) 主要機能

○研究開発支援機能

専任のインキュベーションマネージャー、大学教官及び地域連携推進センタースタッフが、技術指導、共同研究開発マネジメント支援を行うほか、入居者は、地域連携推進センター所有の各種研究開発用機器利用することが可能。インキュベートルーム(賃貸用室)は、全室セキュリティーが完備されている。

○販売促進支援機能

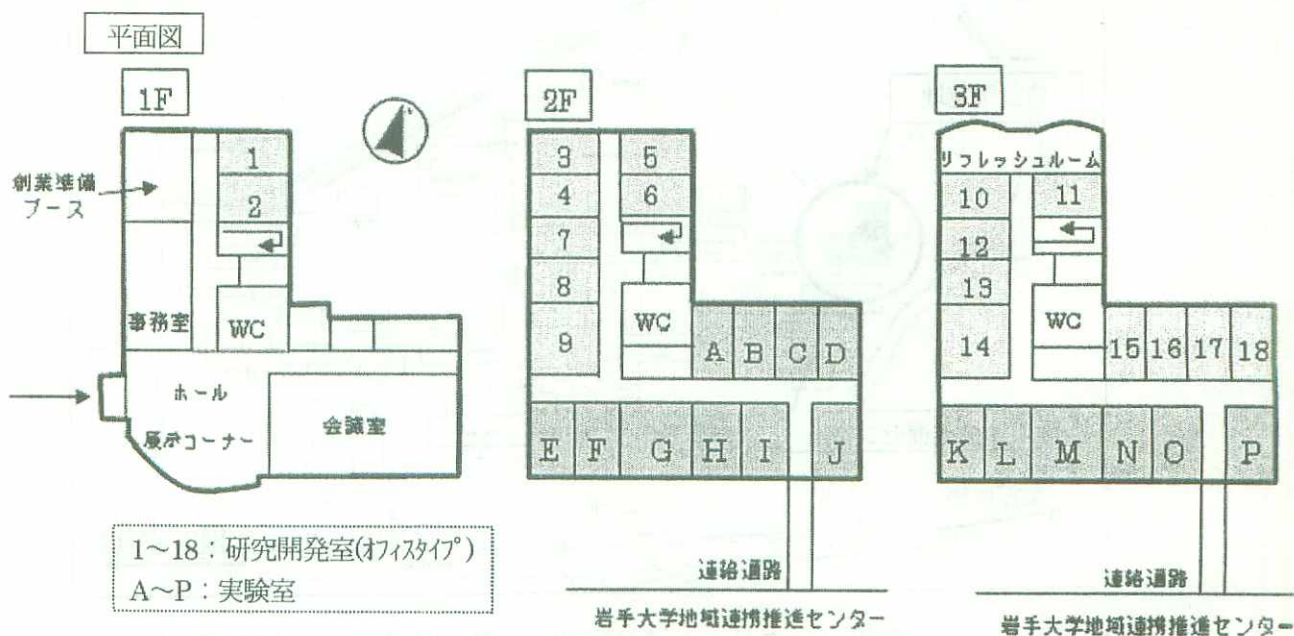
専任のインキュベーションマネージャー、地域連携推進センタースタッフが、マーケティングに関する助言・指導、企業PR等の支援を行う。

○産学官民交流支援機能

市民、企業、大学教官、学生等の交流による新技術やマーケット等の情報交換、大学の知的財産を活用した生涯学習セミナー等を開催する。

(7) 主要室

室名	面積等
研究開発室 (オフィスタイプ)	24.89㎡13室、26.36㎡3室、42.90㎡2室 計18室、488.45㎡
実験室	24.89㎡4室、28.16㎡2室、28.32㎡4室、28.82㎡4室、42.90㎡2室 計16室、470.24㎡
創業準備ブース	51.25㎡(8ブース設置)
会議室	156.52㎡ 可動間仕切により小会議室2室、中会議室1室に区画可能
事務室	74.5㎡
リフレッシュルーム	59.58㎡
連絡通路	2、3階で岩手大学地域連携推進センターと連絡する。



3 事業計画

(1)建設スケジュール

- ・平成17年度 基本設計及び実施設計
- ・平成18年度 本体工事(建築主体,電気設備,機械設備), 備品設置
- ・平成19年度 開所

(2)平成18年度事業費(予算額)

(単位:千円)

経費の区分	予算額	内 訳		
		国庫補助金	起 債	一般財源
工事請負費	580,000	283,500	281,600	14,900
備品購入費	7,000			7,000
需用費	375	0	0	375
合 計	587,375	283,500	281,600	22,275

4 工事請負契約の締結について

- (1)契約工事の名称 (仮称)盛岡市産学官連携研究センター建設(建築主体)工事
- (2)契約の方法 条件付一般競争入札
- (3)契約の金額 金301,035,000円也
- (4)契約の相手方 中亀建設(株)・(株)菅七工務店特定共同企業体
構成員 中亀建設株式会社 代表取締役 中村康彦
構成員 株式会社菅七工務店 代表取締役 菅原正明

5 管理運営方法(案)

本施設に係る管理運営方法については、岩手大学地域連携推進センターをはじめとする既存施設との一体性、支援スタッフ等を考慮し、指定管理者制度により岩手大学に管理運営を委託することを前提に、現在、岩手大学と協議を進めている。

(1)入居者

原則として、岩手大学の研究成果を基に新技術・新製品の研究開発を行う者とする。

(2)入居期間及び賃料

入居期間は、原則3年、最長5年。賃料は、1,500~2,000円/m²/月前後で検討している。(光熱水費は入居者負担)

(3)入居審査

入居に当たっては、市、岩手大学等で構成する入居審査委員会が選考を行う。

6 今後のスケジュール

- (1)施設の設置条例制定 平成18年12月定例議会提案予定
- (2)入居者公募開始 平成18年1月予定
- (3)入居者の決定 平成19年3月予定
- (4)指定管理者 平成19年3月定例議会提案予定